



ケイトウ (鶏頭) が見ごろです



燃え盛る炎のような花穂→

ポプラの丘のケイトウ 9/27 撮影

淡路島国営明石海峡公園では、“ケイトウ”約 10,000 株と“ジニア(百日草)”約 2,200 株が見頃を迎えています。

ケイトウ(鶏頭)は、花穂が鶏冠に似ていることが由来といわれています。また、学名の Celosia(セロシア)はギリシャ語のケロス(燃えた)が語源。園内に植栽している羽毛ケイトウは、フサフサの円錐形の花穂が燃え盛る炎のように見えます。

ジニア(百日草)は、和名に百日とつくように、開花期間が長く、次々と咲き続けます。

淡路島国営明石海峡公園の「ケイトウ」と「ジニア」を是非ご紹介くださいますようお願いいたします。



↑ 階段花壇のジニア 9/27 撮影

ケイトウ	科名：ヒユ科	原産地：熱帯アジアなど	植栽場所：ポプラの丘、移ろいの庭階段花壇、タコのお出迎え花壇など
ジニア	科名：キク科	原産地：メキシコなど	植栽場所：ポプラの丘、移ろいの庭階段花壇

お問い合わせ先

明石海峡公園管理センター 佐藤・瀧本

TEL: 0799-72-2000 FAX: 0799-72-2100

ホームページ: <https://awaji-kaikyopark.jp> “明石海峡公園”で検索。

★本資料のカラー版はホームページからもご覧になれます。

